



えんだより

《運動会ごっこ》

先月の下旬に各クラスによる「運動会ごっこ」を園庭で行いました。空に「ぼんだ組」さんの作った万国旗がなびく中、「きりん組」さんは「ぼんだ組」と職員が中庭から見守る中、髪を結び法被姿で動きながら鳴子を鳴らして踊りました。練習もままならないのに素晴らしかったです。

日を替えて「きりん組」さんが見守る中「ぼんだ組」さんも縄跳びからスタートし、後ろ飛びなどそれぞれが技を繰り広げ大縄跳びも全員が成功しました。フープを使った組体操、フラッグを使った団体競技はそれぞれが違う動きをするため、しっかり動きが頭に入っていないとバラバラになってしまうものですが非常にまとまっていました。

最後に担任も加わった恒例のリレーです。子どもたちが一番燃えていましたが、同着となり、「もう一回！もう一回！」コールの中、悔しさに涙する人もいましたが引き分けで終わりました。運動会ごっこ遊びの動画を保護者の皆様にも何らかの形でご覧いただければと考えております。

最後に知らせていなかった、担任の作った、まさかのメダルを胸にした時は大喜びでした。コロナの中でも一生懸命、皆で取り組んできた事を遊びの中でも人前で発表する事が出来たことは成長につながる大切なことです。

新宿保育園長 狩野 貢

保健室より

看護師 岡林菜央

だんだんと寒い日が増えてきて、子どもたちの服装にも変化が出てきていますね。気温の変化で免疫力の下がる冬は感染症の季節でもあります。暖かくして、おいしいものを食べて、元気いっぱい冬の始まりを楽しみましょう！

冬の感染症紹介

<インフルエンザ>感染力が強く毎年大流行を起こします。進行スピードが速く、各症状が重いのが特徴です。乳幼児は合併症にも注意な感染症です。

<RSウイルス感染症>長引く風邪症状が特徴です。特に発症5日目に症状はピークを迎え、重症化すると入院が必要になることもある感染症です。

<肺炎>痰の絡んだ咳や、呼吸に関する症状が長引く場合は肺炎の可能性もあります。正しい薬での治療が必要なので、受診と早期発見が大切です。

<ノロウイルス>感染力が強く注意が必要です。発熱は軽度ですが、嘔吐・下痢症状が重いのが特徴で乳幼児の場合脱水になる危険性も高い感染症です。

<ロタウイルス>米のとぎ汁のような白っぽい便が特徴の胃腸炎です。ノロウイルスと同じく感染力が強く脱水を引き起こす危険性の高い感染症です。

日ごろから細かい手洗い・消毒と規則正しい生活で風邪や感染症を予防していきましょう！



【七五三の千歳飴】※諸説多々あります
千歳飴は長さが特徴で最長1メートルまでと決められており、太さも15ミリという制限があります。飴は伸ばすところまで伸びていくことから、長寿を連想させる縁起物されています。

七五三には、この長い飴を食べることで「細く長く」そして「粘り強く」いつまでも元気で健やかに成長しますようにと祈願する意味があるそうです。

令和2年11月1日 新宿保育園 03-3607-2470

11月の行事

二ひよこ組の健康診断日

日	月	火	水	木	金	土
1	2 えんだより配布	3 文化の日	4	5	6	7
8	9	10 (ば)図書館	11 身体測定	12 歯科健診	13 環境学習 七五三	14
15	16 クラスだより配布	17	18 お誕生会 (各クラス)	19	20 防災訓練	21
22	23 勤労感謝の日	24 地震訓練	25	26	27	28
29	30					

『給食室より』

管理栄養士 菊本みづほ

園では4歳児クラスがお箸の練習を一生懸命しています。今月はお箸の話をしたと思います。

★エジソンのお箸について

子どもが実際にお箸で食べている感覚になれる物としては優れた商品だと思います。エジソンのお箸はとても食べやすいように出来ているので、ある程度の年齢になると手先の発達に関係なく使えてしまいます。お箸が使えているような気持ちになり本当のお箸を使いたくなりますが、実際に正しい持ち方を教えてもらっても上手く使えずそれがストレスとなり本当のお箸の練習を嫌がる様になってしまう事もあるようです。出来れば使わない方が良いですが使う際には【お箸とは別の物】と割り切って使って頂きたいです。

★しっかりスプーンの使い方を上手になってからお箸へ…

スプーンの使い始めは上持ちです。この時にしっかりとスプーンが使えているとお箸への移行がスムーズです。上持ちで持ったスプーンで大きい物を小さく切る、乗せた物をこぼさない様に口に運ぶ、等の動きには手首を使います。手首の動きが発達して自由にクルクル動かせるようになるとお箸への移行がスムーズになります。

上持ちの次は下持ちですが、上持ちで手首が上手に動くようになっていけば下持ちを抜かして鉛筆持ち(ばきゅん持ち)にしても大丈夫なほど、手首の動きは重要です。『ばきゅん持ち』でのスプーンの動かし方は、お箸を使う際の指先の動きと同じです。食事以外の時間で、縁に少し高さのある器を二つ用意して、スプーンに乗る様な小さなもの(おはじきや豆等)を『ばきゅん持ち』をしたスプーンで移す遊びをするのはとても良いお箸の練習になります(行う際には目を離さず誤嚥に注意してください)。

スプーンでしっかりこぼさずに食べられる様になる事は、お箸へのスムーズな移行に繋がります。

